

# 生涯学修制度 |

生涯学修制度の概要について

教育部生涯教育課 2026年2月修正

# 目次

- 生涯学修制度の全体構造 P 3
- 登録作業療法士制度について P 5
- 認定作業療法士制度について P 1 9
- 専門作業療法士制度について P 2 3



## 登録作業療法士

従事する実践領域において頻繁にかかわる疾患や障害のある、またはそれが予測される人々に対し、標準的な作業療法プロセスに従い、独力で作業療法を実践する能力を有する作業療法士

## 認定作業療法士

作業療法の臨床実践、教育、研究及び管理運営に関する一定水準以上の能力を有する作業療法士

## 専門作業療法士

特定の専門作業療法分野において「高度かつ専門的な作業療法実践能力」を有する者

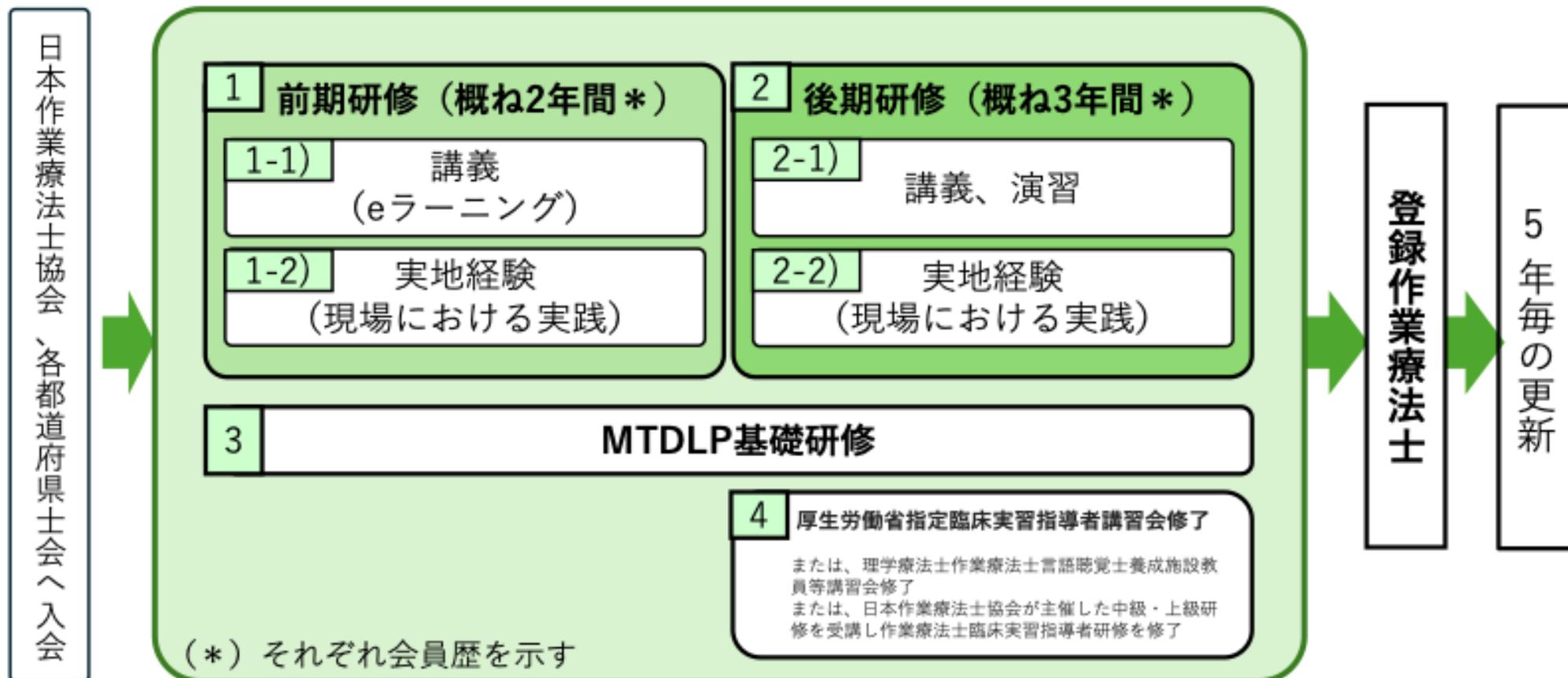
# 登録作業療法士

従事する実践領域において頻繁にかかわる疾患や障害のある、またはそれが予測される人々に対し、標準的な作業療法プロセスに従い、独力で作業療法を実践する能力を有する作業療法士

## 登録作業療法士のレベル

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
	1-2年目の目安	2-3年目の目安	3-4年目の目安	4-5年目の目安	6-7年目の目安
作業療法の核となる4つの実践能力	基本的な作業療法プロセスに従い必要な指導のもと作業療法を実践することができる	標準的な作業療法プロセスに従い必要な（最小限の指導）助言のもと作業療法を実践することができる	標準的な作業療法プロセスに従い独力で作業療法を実践することができる	標準的な作業療法プロセスに従い独力で作業療法を実践ことができ、上級者の助言・指導を得て後輩の指導ができる	標準的な作業療法プロセスに従い独力で作業療法を実践ことができ、後輩への指導とともに学生の指導ができる
	基本的作業療法プロセス	標準的作業療法プロセス			
対象者の生活行為のニーズを捉える力（問題発見力）	<b>前期研修：基本的作業療法プロセスとは、</b> 一連の作業療法の過程を構成する基本的な要素を行う過程をいう。それは、各領域において頻繁に用いる評価、治療・指導・援助、結果・成果の吟味、記録・伝達、労務管理、他職種・他部署との協業、他者への教育・指導、最新の情報・知見の収集などの実践である。			<b>後期研修：標準的作業療法プロセスとは、</b> 各領域において頻繁にかかわる疾患や障害のある者に、最新の知見に基づいて実践する一連の作業療法の過程である。	
生活行為の向上に向けてセラピーする力（問題解決力）					
生活行為の達成のために協働する力（リーダーシップとマネジメント力）					
成果・結果を吟味し伝える力（研究力、教育・指導力）					

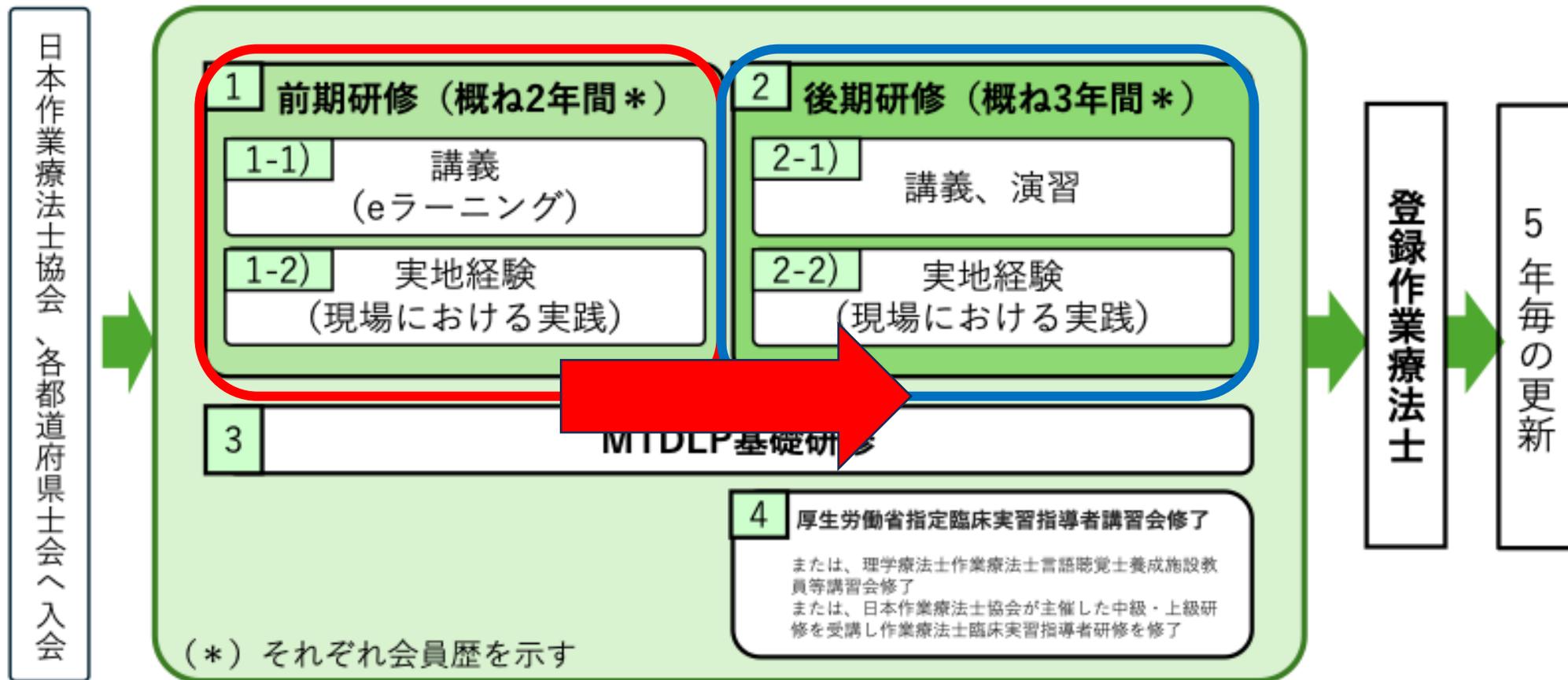
# 登録作業療法士制度 概要



\* 前期研修の2年間、後期研修の3年間とは、OT協会の会員歴がそれぞれ通算2年、通算3年をいう

\* OT協会の会員歴は、入会月に関わらず、入会した年度を会員歴1年とカウントする

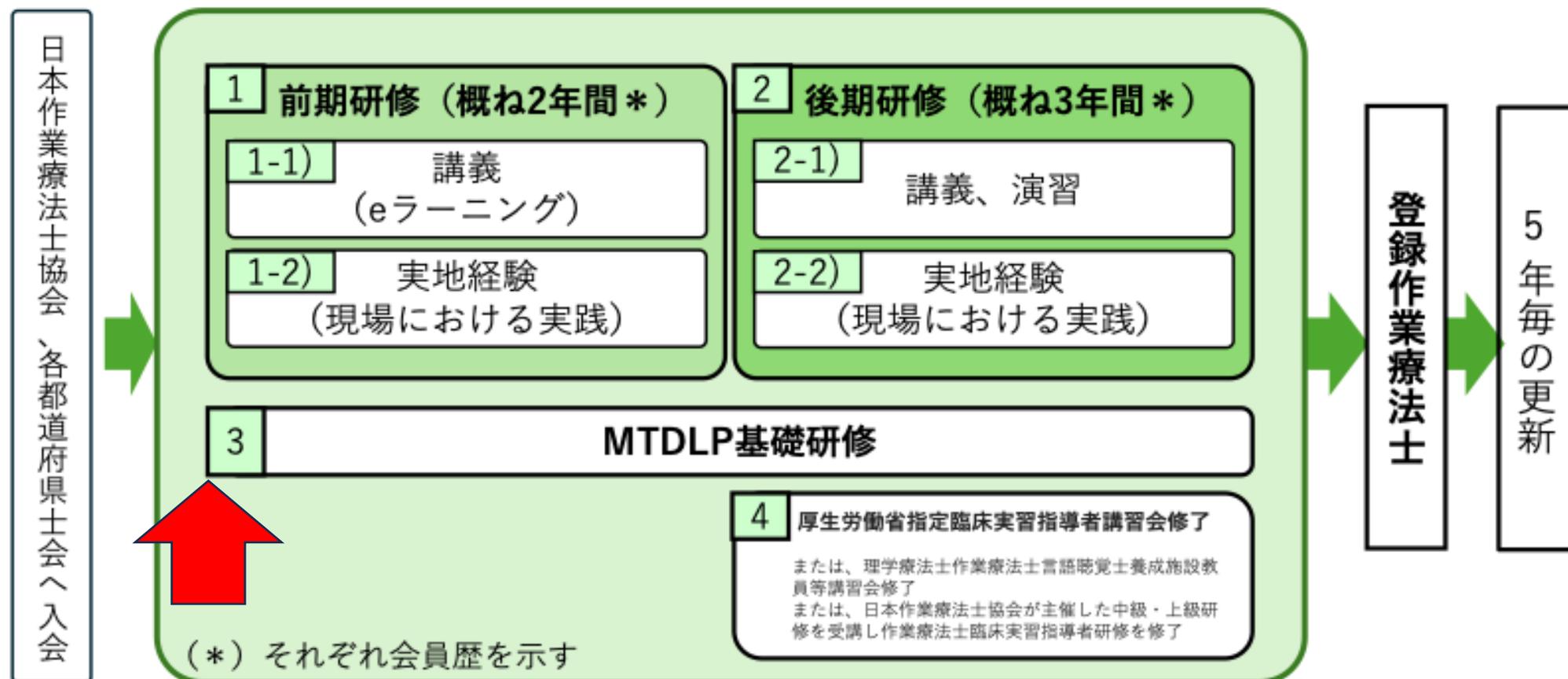
# 登録作業療法士制度 概要



\* 前期研修の2年間、後期研修の3年間とは、OT協会の会員歴がそれぞれ通算2年、通算3年をいう

\* OT協会の会員歴は、入会月に関わらず、入会した年度を会員歴1年とカウントする

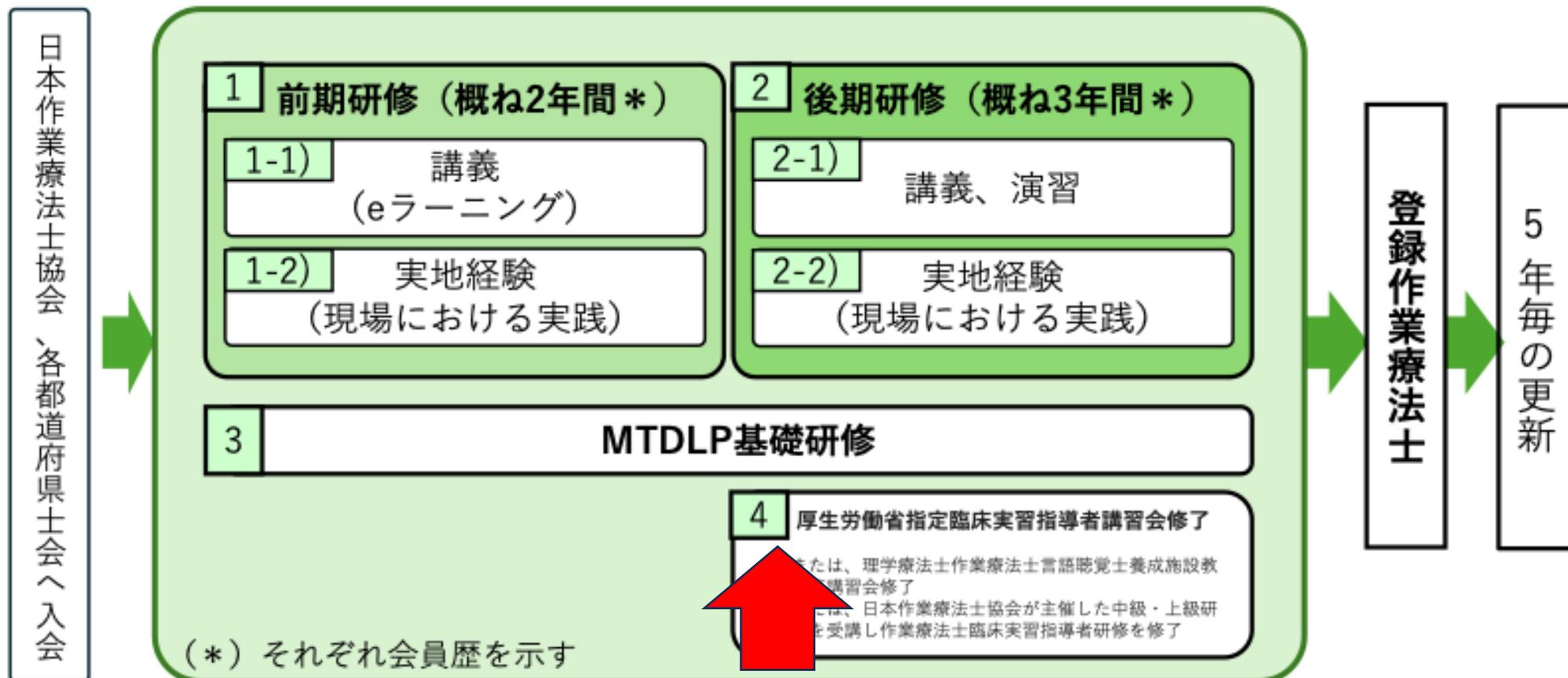
# 登録作業療法士制度 概要



\* 前期研修の2年間、後期研修の3年間とは、OT協会の会員歴がそれぞれ通算2年、通算3年をいう

\* OT協会の会員歴は、入会月に関わらず、入会した年度を会員歴1年とカウントする

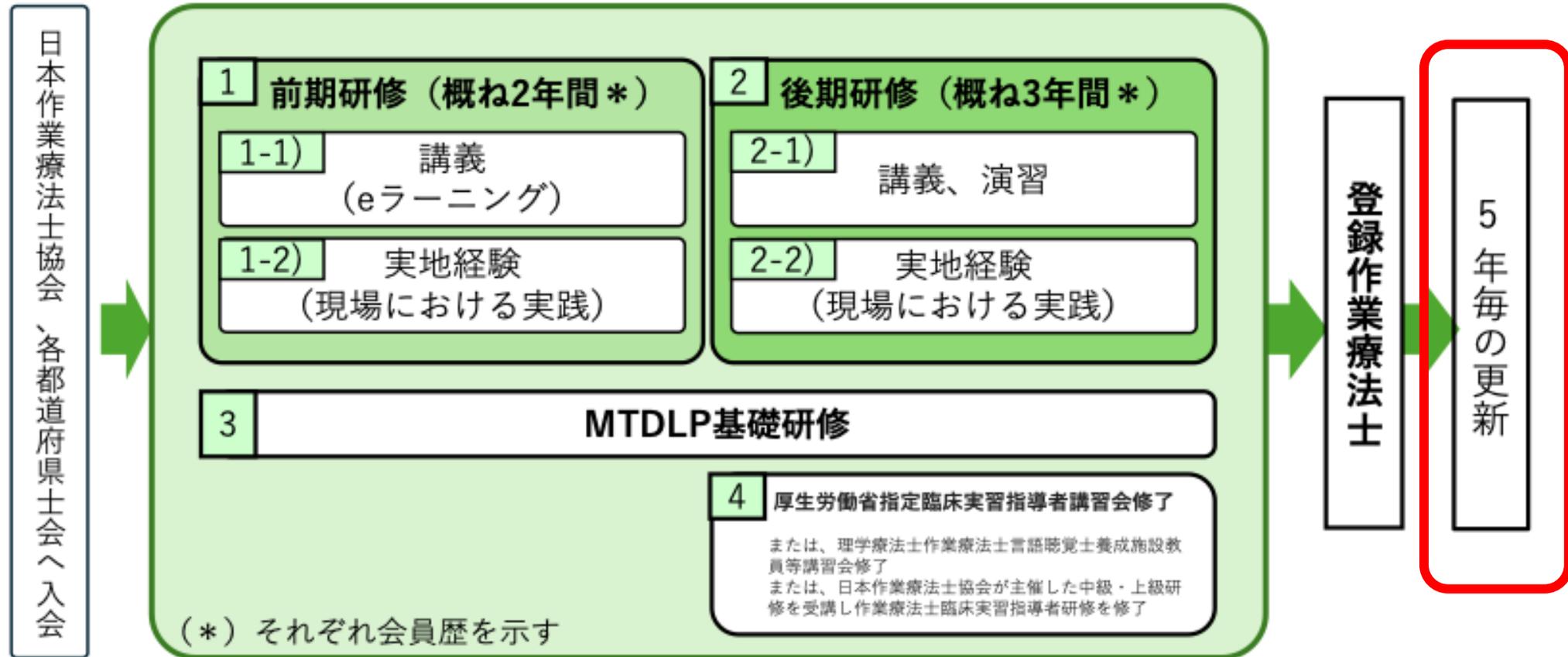
# 登録作業療法士制度 概要



\* 前期研修の2年間、後期研修の3年間とは、OT協会の会員歴がそれぞれ通算2年、通算3年をいう

\* OT協会の会員歴は、入会月に関わらず、入会した年度を会員歴1年とカウントする

# 登録作業療法士制度 概要



\* 前期研修の2年間、後期研修の3年間とは、OT協会の会員歴がそれぞれ通算2年、通算3年をいう

\* OT協会の会員歴は、入会月に関わらず、入会した年度を会員歴1年とカウントする

# 更新には「基礎ポイント」という制度を使います

JAPAN 一般社団法人  
日本作業療法士協会  
Japanese Association of Occupational Therapists

Googleカスタム検索

作業療法士とは ▾ 作業療法士の支援を受ける ▾ 作業療法士になるには ▾ 協会について

## 基礎研修について

- [基礎研修制度規程細則 \(PDF\)](#)
- [基礎研修修了までのフローチャート \(PDF\)](#)
- [基礎研修制度と修了・更新申請](#)
- [基礎研修制度における基礎研修修了更新の要件変更について \(PDF\)](#)
- [⇒申請書 \(PDF\)](#)
- [現職者共通 選択研修 研修シラバス・運用マニュアル \(第5.1版\)](#)
- [基礎ポイントについて](#)
- [SIG等認定一覧](#)

- 基礎ポイントを50ポイント分取得します。
- 協会・士会の研修会等の受講分は自動的に登録されます。
- それ以外の団体等のものは自身で登録が必要です。

作業療法士とは ▾

作業療法士の支援を受ける ▾

作業療法士になるには ▾

協会について ▾

入会案内 ▾

📍 会員向け情報

生涯学習制度認定（2020）の認定要件

## 基礎研修について

- 基礎研修制度規程細則（PDF）
- 基礎研修修了までのフローチャート（PDF）
- 基礎研修制度と修了・更新申請
- 基礎研修制度における基礎研修修了更新の要件変更について（PDF）  
⇒ 申請書（PDF）
- 現職者共通・選択研修 研修シラバス・運用マニュアル（第5.1版）
- 基礎ポイントについて
- **SIG等認定一覧**  
⇒ 注意事項  
⇒ 他団体SIG等の認定申請・報告書  
⇒ 存続不明団体についての会員からの情報公募のお願い  
⇒ 養成校・同窓会認定一覧（2020.3）
- 現職者共通研修 事例検討履修申請書（Word）
- 現職者共通研修 事例報告履修申請書（Word）
- 事例検討会受講履歴取り扱いフローチャート

SIG等認定一覧



作業療法士とは ▾

作業療法士の支援を受ける ▾

作業療法士になるには ▾

協会について ▾

入会案内 ▾

📍 会員向け情報

## SIG等認定一覧

### カテゴリ

学術関連



教育関連



保険・障害福祉情報



地域社会振興関連



生活環境関連



国際関連



学会・他団体・SIG等

養成校関連

フリーワード

名称・旧名称

区分

選択してください



都道府県

選択してください



検索する

- ホーム
- 会員証
- 登録情報
- 施設情報担当者
- 生涯教育**
- 研修会申込
- 学術データベース
- 会員所属施設名簿
- ライブラリ
- 諸手続き
- お問い合わせ

## お知らせ一覧

### 重要なお知らせ

- 学術部 2025年8月29日 学術誌『作業療法』第45巻（2026年偶数月発行）紙媒体配付希望受付について
- 学術部 2025年3月4日 学術誌のオープンアクセス化とそれに伴う投稿規定改定のお知らせ

### 協会からのお知らせ

-  制度対策部 2025年10月27日 【制度関連情報】医療・介護・障害福祉
-  制度対策部 2025年10月20日 【制度関連情報】医療・介護・障害福祉
-  制作広報室 2025年10月15日 モバイル対応版電子書籍『日本作業療法士協会誌』第163号を配信いたします
-  国際部 2025年10月15日 2026年度海外研修助成制度の募集期間を延長しました
-  制度対策部 2025年8月12日 【申込期間のお知らせ】令和7年度両立支援コーディネーター基礎研修について



- ホーム
- 会員証
- 登録情報
- 施設情報担当者
- 生涯教育
- 受講履歴
- 各種申請
- 認定証印刷
- 研修会申込
- 学術データベース
- 会員所属施設名簿
- ライブラリ
- 諸手続き
- お問い合わせ

### 各種申請（生涯教育）

他団体・SIGポイント申請登録

基礎研修修了申請

認定作業療法士認定申請

専門作業療法士認定申請

有効期間延長申請

臨床実習指導者実践申請

臨床実践能力試験申請

生涯教育  
→各種申請  
→他団体・SIGポイント申請登録

- ホーム
- 会員証
- 登録情報
- 施設情報担当者
- 生涯教育
- 研修会申込
- 学術データベース
- 会員所属施設名簿
- ライブラリ
- 諸手続き
- お問い合わせ

### 他団体・SIGポイント申請 仮登録一覧

<input type="checkbox"/>	申請日	受講日	日数	受講テーマ/養成校・同窓会の受講テーマ	他団		
該当データがありません。							
				申請	<b>新規追加</b>	変更	削除

## 他団体SIGポイント申請登録

申請日 2025年11月2日

基礎研修修了証 2025年2月1日 ~ 2035年1月31日

認定作業療法士認定証（終身含む） 2025年2月1日 ~ 2035年1月31日

📅 受講日from\*

~ 📅 受講日to\*

研修日数

0

他団体SIG区分

他団体SIG名\*

受講テーマ

養成校・同窓会の受講テーマ\*

ポイント種別\*

ポイント数\*

0

主催者連絡先

# 登録作業療法士申請のための条件

	2025年度入会者	2024年度までの入会者
前期研修 eラーニング	受講	不要
前期研修 実地経験	上位OTの指導、修了確認者からのチェック	不要
後期研修 講義・演習	受講	受講
後期研修 実地経験	セルフチェック	セルフチェック
MTDLP基礎研修	受講	受講
臨床実習指導者講習会など	受講	受講
基礎ポイント研修	不要	50ポイント取得
最低5年度分の協会会員歴	最短で前期2年+後期3年の形で必要	必要

# 認定作業療法士

作業療法の臨床実践、教育、研究及び管理運営に関する一定水準以上の能力を有する作業療法士

2024年度までの入会者



生涯教育制度

2025年度入会者

2025年4月

2027年4月

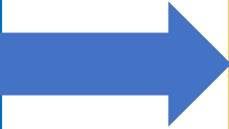
生涯学修制度

# 認定作業療法士

作業療法の臨床実践、教育、研究及び管理運営に関する一定水準以上の能力を有する作業療法士

2027年3月31日まで

基礎研修修了



- 認定作業療法士取得共通研修2講座の受講
  - ・研究法
  - ・管理運営
- 認定作業療法士取得選択研修2講座の受講
- 厚生労働省指定の理学療法士作業療法士臨床実習指導者講習会の受講修了
- 臨床能力実績3例の提出

# 認定作業療法士

作業療法の臨床実践、教育、研究及び管理運営に関する一定水準以上の能力を有する作業療法士

2027年4月1日以降

登録作業療法士

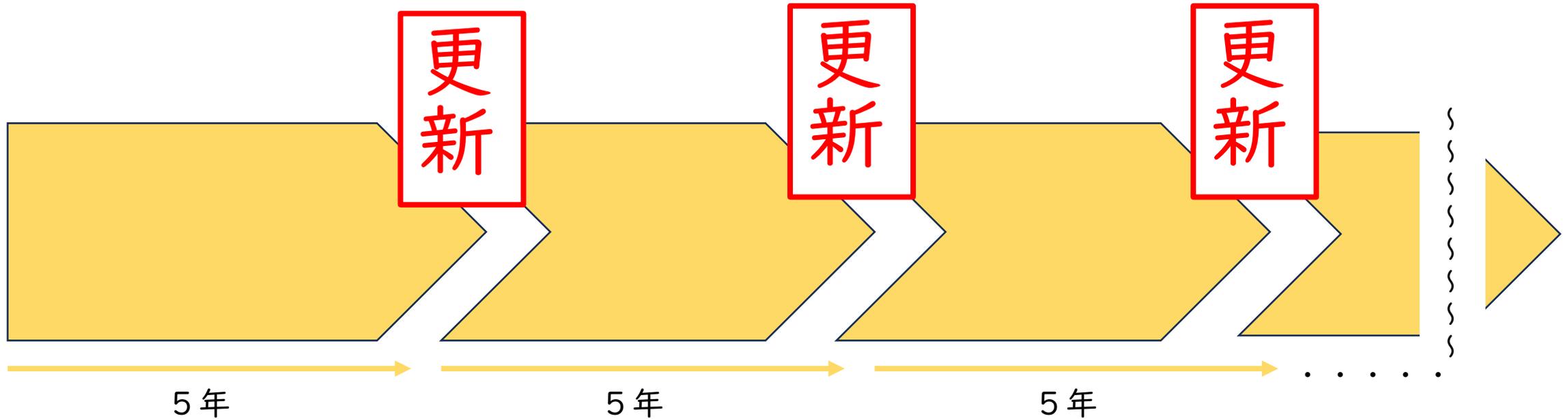


- 認定作業療法士取得共通研修2講座の受講
  - ・研究法
  - ・管理運営
- 認定作業療法士取得選択研修2講座の受講
- 臨床能力実績3例の提出

但し、臨床経験が5年未満のために臨床実習指導者講習会の受講ができず、それ以外の研修を修了している場合は登録作業療法士取得前に認定作業療法士取得研修の受講を可能とする。この場合も認定作業療法士の申請は登録作業療法士取得後。

# 認定作業療法士

作業療法の臨床実践、教育、研究及び管理運営に関する一定水準以上の能力を有する作業療法士



- 【更新要件】
1. 基礎ポイントの取得
  2. 実践報告
  3. 後輩育成指導経験
  4. 作業療法啓発に関する社会的貢献

# 専門作業療法士

特定の専門作業療法分野において「高度かつ専門的な作業療法実践能力」を有する者



## 現在12分野

- ・ 福祉用具
- ・ 認知症
- ・ 手外科
- ・ 特別支援教育
- ・ 高次脳機能障害
- ・ 精神科急性期
- ・ 摂食嚥下
- ・ 訪問
- ・ がん
- ・ 就労支援
- ・ 脳血管障害
- ・ 運転と地域移動支援

# 専門作業療法士の取得

## 研修実践

：専門分野の研修カリキュラム修了。

## 臨床実践

：専門分野における一定時間以上の勤務経験などと、専門分野に関して必要な事例数の経験。

## 研究実践

：専門分野ごとに定めた事例数を報告。また、専門分野に関する論文・著作・学会発表。

## 教育と社会貢献の実践

：専門分野に関する社会貢献と教育実践。

資格認定試験

専門作業療法士

5年ごとの更新

← 1年目から取り組み可能

認定作業療法士の取得

# 専門作業療法士認定 取得のための手引き

分野ごとに専門作業療法士認定取得  
の条件を記載した手引きがホーム  
ページに掲載されています。

～専門作業療法士への道～

*The Road to Specialized Occupational Therapist*

一般社団法人日本作業療法士協会 生涯教育制度  
専門作業療法士の認定取得のための手引き

各論

( 福祉用具 分野)

—2021年6月1日版—

所属士会： \_\_\_\_\_  
会員番号： \_\_\_\_\_  
氏 名： \_\_\_\_\_

一般社団法人 日本作業療法士協会  
教育部 生涯教育委員会

2021年（令和3年）

作業療法士国家資格取得

### 登録作業療法士

Association Registered Occupational Therapist

前期研修  
(概ね2年間)

講義  
(eラーニング)

実地経験  
(職場における実践)

MTDLP基礎研修

後期研修  
(概ね3年間)

講義, 演習

実地経験  
(職場における実践)

厚生労働省指定  
臨床実習指導者講習会

### 認定作業療法士

Association Certified Occupational Therapist

共通研修

管理運営

研究法

選択研修

身体障害

老年期障害

精神障害

発達障害

臨床能力実績の証明

### 専門作業療法士

Specialist Occupational Therapist

研修実践

基礎

応用

研究・開発

臨床実践

研究実践

教育と社会貢献の実践

臨床能力実績

専門作業療法士の各分野が指定する要件の取得

取得と更新